

レンタルキャンピングカー バンテックZIL

お取り扱いマニュアル

1. バンテックZILについて
2. 運転時の注意事項
3. 内装品ご利用時の注意事項
4. 各内装品についてのご説明

本マニュアルはレンタルキャンピングカーZILについてのお取り扱い説明書です。レンタル料金や、保険等当店のご利用全般については別途レンタルのご案内しおりをご覧ください。

ご不明な点がございましたらお電話(022-391-9370)、ホームページのお問い合わせフォームあるいはEメール(office251@travelcamper.net)よりお問い合わせください。

キャンピングカーレンタル仙台

989-3123 仙台市青葉区錦ヶ丘2丁目5-1

TEL: 022-391-9370

1. バンテックZILについて

ベース車輛:トヨタ カムロード 3000ccディーゼル
駆動方式:フルタイム4WD 4速AT
コーチビルダー:バンテック
乗車定員:10名
就寝定員:6名
全長:4980mm(サイクルキャリア、収納ボックスを除く)
全幅:2110mm 全高:2980mm

主要装備(キャンピング部)

ETC	3Way冷蔵庫	網戸付きブラインド
DVDナビ	FFヒーター	バンクベッド
バックモニター(白黒)	外部100V電源	脱着式テーブル
15インチDVD内臓 液晶テレビ	清水タンク・飲み水タンク・ 排水タンク	断熱二重窓
サイドオーニング	温水シャワー	鏡付き洗面台
ツインサブバッテリー	電子レンジ	ACコンセント
サイクルキャリア	1500Wインバーター	5kgプロパンガス
トイレ(洗浄機能付き)	2口ガスコンロ、シンク	

備品(消耗品) 以下についてはご自由にご利用ください。

掛敷布団セット2組※	シートカバー	歯ブラシセット
お皿・お椀セット	まな板・包丁	鍋セット
ティッシュ(D&W)	映画等DVD	外遊びセット
ミネラルウォーター	紙コップ	洗面タオル
調味料	雑誌・新聞	電動掃除機
電気ポット	お茶・コーヒー	トイレットペーパー

※追加無料オプション(積載量が増えるため以下は無料オプションとしております)

- バーベキューセット(木炭・網付き)
- 折りたたみイス
- 追加布団セット(2組まで)
- 後部収納ボックス(荷物の多い方に。全長が約50cm延長します)

※有料オプション

有料のオプションとして、ガスランタンなどをご用意しております。
詳細はホームページをご覧ください。

2. 運転時の注意事項

●キャンピングカーは積荷満載状態のトラックと同様の車両です。一般の乗用車に比較して、走行中のローリング(横揺れ)やピッチング(縦揺れ)が大きくなります。また横風や轍(わだち)の影響を受けやすく、走行時には不安定になることがありますので、十分注意して運転してください。

高速道路は100km/h以下で運転してください。坂道は登坂車線へお入りください。

●運転中に急な異変(異常な振動、異音など)を感じた場合には、徐々に停止(特にパンクの場合には急ブレーキ禁)し、足回りをご確認下さい。高速道では、危険ですので外に出ないで、ロードサービス(車内に連絡方法が貼ってあります)をお呼び下さい。

●車酔いしやすい方は前方キャビンでの乗車をおすすめします

●走行中はガスの元栓を閉め、ガス器具の使用はしないで下さい。

●高さは約3mありますので駐車場や店舗出入りの際はご注意ください。またリアが長いため、後退の際は車止めではなくバックモニターでご確認ください。

●走行中は転倒事故防止のため、お子様などが座席に立つことの無いよう、注意してください。またシートベルトは安全のため後席も必ず締めてください。

●走行中は必ずリアドア(後部エントランス)のロックをして、リアドア付近には立たないようにご注意ください(特にお子様)。

●車の屋根には点検、清掃時のみに、必ずエンジンを止めて大人1人で昇降してください。滑りやすい上に、大きく揺れて転落事故の危険性があります。

●ご返却時には近くの給油所で燃料満タンでお願い致します。

●就寝時はエンジンを停止してください。

エンジンの排気ガスが進入して重大な事故になることがあります。

3. 内装品ご利用時の注意事項

- **メインスイッチが入っていないとFFヒーター以外のすべての装備品が使用できません。バッテリー切れかな？とおもったらまずはメインスイッチの確認をお願いします**（下記「電源について」参照）。
- サブバッテリーの電力が低下した場合にはエンジンをかけると電気を使用出来ません。サブバッテリーがあがってしまっても車両の走行には影響はありません。
- ZILでは電子レンジ、電気ポットやドライヤー等が使用可能ですが、バッテリーに高い負荷がかかりますので、使用は必要最小限にしてください。可能であれば100V電源確保のうえご利用ください。
- 出発時には、昇降ステップ格納、100V電源コード収納をご確認ください。
- FFヒーターは給油の30分前にはお切りください。
- ガスコンロご利用の際は換気にご注意ください。また車内では炭を絶対に使用しないでください。ガス警報器が鳴った場合、換気の上ガスの元栓を閉めてください。
- バンクベッドからの落下事故には十分にご注意ください。
- 車内装備品について使用法が不明の場合には、ビデオ解説をご覧ください。また電話(022-391-9370)までご連絡ください。
- 車内装備品の不具合や汚れ等があった場合にはご遠慮なくお知らせください。また装備品の破損等生じた場合には発生した時点でお電話にてご連絡ください。
- ペット乗車の際には車内では放さず、ケージでの管理をお願いします。
- 返車前に返車時間について一度お電話をお願いします(返車1時間前～給油時)。

4. 各装備品についての詳細

以下でキャンピング部の各装備品についての詳細をご説明致します。なお、ホームページ (<http://www.travelcamper.net>)上ではZILの各装備品についての使用方法について動画により解説しておりますのでそちらもご活用ください。また装備品についてご質問がある場合にはお電話等にてご連絡ください。

運転席

右ハンドル、オートマチックです。ETC、DVDナビ、バックモニター（バックギア時に自動点灯します）



エントランス、外部扉

右写真の①がエントランス扉です。カギは2種類あります。内側に網戸付きの扉がついています。

②はガス庫の扉です。

③は外部収納庫の扉です。ここにはサイドオーニングハンドル、スペアタイヤ取り外しハンドル、ジャッキ、工具セットなどがはいています。またオプションのバーベキューセットがはいらいます。

車両右側のサイドパネルドア④の内部には給油口があります（給油の頁参照）。



サイドオーニング

1. サイドオーニング端部のクランクにオーニングハンドルを差し込み、右に回してください（オーニングハンドルは外部収納庫③にあります）。

2. オーニングをある程度張り出したところで、オーニングカバー内側に収納してある脚を外側にスライドさせ引き出してください。

3. そのまま脚を地面に立て、高さを調節して、ロックしてください。

4. 張出したところで脚の長さを再度調節して脚下端部をペグでしっかり地面に固定してください。

5. 地面がアスファルトのときなどは、ボディの固定金具に脚を固定してください。

※注意

・風にあおられて損傷することがありますので、脚はペグあるいはボディにしっかり固定してください。強風時は使用しないでください。

・走行前にオーニングが確実に収納されていることを確認してください。事故の原因になります。



給油

この車両の燃料は軽油(ディーゼル)です。80リットルタンクが装備されています。

給油方法

1. 車両右側(運転席側)のサイドパネルドア④を開けて、ドアストッパーをかけます。
2. 給油口のキーを解除して蓋をあけ、給油します。
3. 給油が終わったら、逆の手順で蓋をしてドアを閉めます。
4. 開けた時と逆の手順でサイドパネルドアにキーを掛けます。

電源について

1. FFヒーター以外の装備品を使用する場合にはメインスイッチが「入」になっている必要があります。装備品が使用できない時にはまずは車両後方にあるメインスイッチを確認してください。

メインスイッチ



2. ZILには後部キャンピング架装部に12V105Aのディープサイクルバッテリーを2つ搭載しています(ツインサブバッテリー)。このサブバッテリーへの充電方法として①外部100V電源による充電、②車両オルタネーター(90A)による走行充電の2通りがあります。

右側がブレーカーです
(左はリアエアコン)

※外部電源による充電の際にはブレーカースイッチが「入」になっている必要があります。

※空の状態から満充電するまでに要する時間はどちらも5時間以上です。

※サブバッテリーが空になっても車の走行は可能です。



3. 集中パネルのバッテリー残量スイッチでバッテリー電圧がある程度推定可能です。写真のスイッチの上を押すとメインバッテリー(車のバッテリー)、下を押すとサブバッテリーの電圧が赤あるいは緑で点灯します。このランプはバッテリーの残量とは必ずしも関連しません(バッテリー残量が十分でもたくさんの電器機器を使用すると電圧が低下し赤く点灯します)。

メイン(車の)バッテリー

サブバッテリー



5. ZILには大容量1500Wインバーターが装備されています。後部座席後方にある赤ボタンを押すことで、100Vコンセントが使用できるようになります。これにより走行中テレビがごらんになります。

外部電源のない状態で、電子レンジやドライヤーなどの短時間使用は可能ですが、電気ポットや炊飯器など長時間の使用になる場合にはオートキャンプ場などでの外部電源の利用が必要です。

4. 過放電を防ぐため、インバーターはサブバッテリーの電圧が11V以下になると「ピー」と鳴ります。またバッテリープロテクターによりサブバッテリーの電圧が10.5Vになると送電が停止されます。

※走行中(エンジン始動中)は電子レンジ等の高電流機器を使用しないでください。ヒューズが切れることがあります。

※バッテリーおよびその周辺のコード類には大きな電流が流れています。バッテリーの周辺には決して手を触れないようお願いいたします。

※インバーター自体が電力を消費しますので、使用しないときは切ってください。

ガスコンロの使用方法

1. ガス庫の扉(②)を開けて、プロパンガスの元栓を反時計回りに回して開けます。この状態ではまだガスは通っていません。

2. LPガス警報センサーのスイッチをONにします。

3. 集中パネル横のガス制御パネルのスイッチを以下のように操作します。

①まず左側のスイッチを押します(このスイッチは押されたままになります)

②次に右側のスイッチを押します(このスイッチはばねで戻ります)これでガスが通った状態になります。

4. ガスコンロの火力ダイヤルを炎の大きさに合わせ、押したままライターで着火します。

5. 着火後、火力が安定したらダイヤルを離し、火力調整をしてください。

6. 消す時には火力ダイヤルを・の位置に戻します。

※ガスを使用する際は、必ず換気をして(車のエアコンも外気導入にしてください)、周りに燃えやすいものがないことを確かめてから使用してください。

※走行中は、安全のためガス器具、火気の使用は禁止です。

ガスの元栓を開ける



ガス警報センサー



①左スイッチ



②右スイッチ



温水ボイラー

1. ガスコンロの使用法の項1～3の手順で、ガスを使える状態にします。
2. シンク清水タンクをお湯側に回して(下記)、スムーズに水がでることを確認してください(貸渡前には確認しております)。エアーがでるようであれば、配管内あるいはボイラー内にエアーのある状態ですので、蛇口をあけたまま水がでるまでポンプを回し続けてください。

3. 集中パネルにある温水ボイラー着火スイッチをONにしてください(ランプが点灯します)。



4. 自動的に着火して(ランプが消灯します)、バーナーで温水が作られます。

温水ボイラー着火スイッチ

5. 沸くまでに要する時間は夏期で約20分、冬期で約40分が目安です。
6. 設定温度に達すると自動的に消化します。使用中タンク内の温度が下がると再び自動着火してお湯を沸かします。
7. 使用後は着火スイッチをOFFにしてください。

※温水ボイラーの空焚きは絶対にしないでください。

※不着火の場合、着火スイッチが赤く点灯します。この場合、一旦OFFとしてガスが通っているかを確認してから、再度ONにしてください。

清水・給水タンク、排水タンクおよびシンク

1. ZILには水を貯留するタンクが2つ搭載されています。1つはシンクの水栓のみに冷水を供給する「給水タンク」(20L)、もう一つはシャワールーム、洗面台およびシンクに冷水および温水を供給する「清水タンク」(80L)です。

2. 集中パネルの給水ポンプスイッチ(下写真)を入れ赤ランプを点灯させると温水あるいは水が使用できます。

3. 左側の蛇口は、清水タンクからの水です。温水を利用する場合にはつまみを赤い方へ、冷水を利用する場合はつまみを青い方へまわし、引き上げます(お湯の沸かし方は温水ボイラーの項参照。)

4. 右側の蛇口は、給水タンクからの水です。つまみを右に回すと水がでます。

※清水タンク、給水タンクいずれもレンタル当日朝に給水し、返却後は速やかに排水、清掃しておりますので安心してご利用ください

※排水のつまりの原因となりますので、シンクには液体のみ流し、残飯等は流さないようにしてください。

※「給水タンク」の内容は水道水です。飲むことは可能ですが、衛生上、実際に飲む水はミネラルウォーター等をお勧めします。

清水タンクからの水栓



給水タンクからの水栓



給水ポンプスイッチ



シャワー

シャワーを使う前に、お湯を沸かします(温水ボイラーの項参照)。お湯が沸いたら、温水～冷水が使用可能となります。

1. シャワー温度調節つまみをひねり、温水側へ回します(このつまみを回しただけではお湯は出てきません。下記※参照)。
2. 洗面台の上にシャワーを持ってきて、シャワーのトップ部にあるつまみを半回転させるとお湯がでます。さらに半回転させると止まります。
3. 使用後は温度調節つまみを低温側へ回しておいてください。



※シャワーと清水タンク水栓のポンプは共通のため、清水タンク水栓を開けたままシャワーのトップ部をひねると温度調節つまみを回していなくても水が出てきますのでご注意ください。

※つまみの原因となりますので、シャワー室の排水口にティッシュ等の固形物を流さないようにしてください。

カセットトイレ

1. ご使用後はノブを回してバルブプレートを開け、汚物を下に落とします。

2. ノブを押すと洗浄リンスが出てきます。

3. 水を流した後、ノブを回してバルブプレートを閉めてください。



※汚物タンクのつまりを防ぐため、トイレットペーパー以外のものは流さないでください。

※汚物タンクメーターでタンクの容量を確認してください
(緑＝空、赤＝満タン)

汚物タンクメーター



※ご返却後の汚物処理は当店で行います。ただし、レンタル期間が長期にわたる場合やカセットがいっぱいになった場合には、以下の手順でお客様に汚物処理をして頂く必要があります。

1. 車両右側面後方の外部扉(トイレ、シャワー庫)の扉を開けます。

2. 黄色のパネルを押さえて、カセットを引き出します。

3. 水洗トイレ等までカセットを持ってきてから、クビの部分を回転させて、キャップをはずします。黄色のボタンを押しながら汚物を排出します。

4. 水を入れて、揺り動かしてから、再度排出します(これを何度も繰り返してきれいにします)

5. 最後に約1リットル程度の水を入れて、カセット下にある緑色の消臭剤(使い切り)をカセット内に注入し、攪拌してカセットをセットします。

※洗浄リンスについては貸渡前に十分量を給水していますが、レンタル期間が長期にわたる場合や使い切ってしまった場合には以下の手順でお客様に給水をして頂く必要があります

1. 車両右側面後方の外部扉(トイレ、シャワー庫)の扉を開けます。

2. 洗浄タンクの給水口を回転させて、黄色のキャップを開けます。

3. ピンク色の洗浄リンス(使い切り)を入れて、タンク内に水を注入します。右側のゲージがある程度いっぱいになったら注入を終了します。

3Way 冷凍冷蔵庫

ZILの冷蔵庫は3WAYの熱吸収式冷蔵庫です。AC100V、DC12V(走行時)、LPガスと使用状況に合わせて選択できます。コンプレッサー方式に比較して冷蔵能力にはやや劣るものの、振動、作動音がほとんどありません。



<熱源を切り替えての使用方法>

- ・貸渡時にはあらかじめ庫内は冷蔵されています。走行中はDC12Vを使用してください。目的地到着後、外部電源が確保できる場合にはAC100V電源で、外部電源が確保できない場合にはガス方式をご利用ください。
- ・もっとも冷える熱源はガス方式です。ガス方式の場合には電源・ガスもごくわずかしか使用しませんので、夜間つけっぱなしでも長期利用可能です。

電気・ガス消費量

AC100V 125W

DC12V 120W

LPガス 約14.5g/h

LPガス方式

1. 冷蔵庫の電源がすべてOFFであることを確認してください。
2. ガスコンロの使用法の項1～3の方法で、ガスを使用可能な状態にします。
3. 電子イグナイタースイッチ(オレンジ色)を入れるとパチ、パチとスパーク音がして、ランプが点滅します。
4. ガスコントロールダイヤルを押さえたまま、炎マーク(大)にダイヤルをあわせる。
5. 電子イグナイタースイッチの点滅が止まればガスが着火され正常に運転している状態です。
6. 着火が確認できたらガスコントロールダイヤルを話してください。
7. 運転を止める場合にはガスコントロールダイヤルを右に回し、電子イグナイタースイッチを○側に戻してください。

※走行中のLPガス方式の使用は危険ですのでおやめください。

AC100V方式

1. 外部電源を入力してください。
2. プラグマークスイッチ(緑色)を入れてください(緑色点灯します)
3. 温度調整ダイヤルで温度設定を調整します(通常7=強冷でご利用ください)
4. 運転を止める場合にはスイッチを○にもどしてダイヤルの数字を0にしてください。

※外部電源を確保していなくても、インバータースイッチを入れた状態ではAC100V方式のご利用が可能です。電力の消費量が多いため、使用しないでください。

DC12V方式

1. エンジンを始動させてください。
2. バッテリーマーク(赤色)のスイッチを入れます(赤く点灯します)。
3. 温度調整ダイヤルで温度設定を調整します(通常7=強冷でご利用ください)
4. 運転を止める場合にはスイッチを○にもどしてダイヤルの数字を0にしてください。

※家庭用の冷蔵庫と異なり、短時間での冷却能力が低いため、冷蔵の必要なものはあらかじめ庫内を冷やしてから、入れてください。

※外気温によっては製氷ができないことがあります。

※庫内に食品を詰めすぎないようにしてください。

※車両は水平の状態にしてご使用ください。

FFヒーター

Z11には車体の燃料である軽油を使用したFFヒーターが備わっています。夜通し暖房しても電気、燃料の使用量はわずか(2リットル程度)で、ぽかぽかです。

1. 運転席後方にあるFFヒーターのスイッチを一旦MAXまで回します。
2. 着火したら、お好みのレベルに設定します(4段階です)

※走行中・エンジン始動中は着火不良を起こす場合があります。その場合は再度上記により着火してください。

※燃料が1/3以下では着火不良を起こす場合がありますので、1/3以上であることを確認して使用してください。

※FFヒーターはメインスイッチを切っても作動します。



リアクーラー

ZILにはエンジン始動中に使用できる後部座席用エアコンが装備されています。

1. ベンチシート下方にリアクーラーの調節つまみがありますので、必要に応じて設定を調整してください。
2. 後部用エアコンの吹き出し口はベンチシート側方・下方にあります。



リアクーラー
吹き出し口

FFヒーター
吹き出し口



DVD内蔵液晶テレビおよび ワンセグフルセグ対応地デジチューナー

ZILには15インチワイド内蔵液晶テレビおよびワンセグフルセグ自動切り替え方式地デジチューナーが装備されています。

テレビのみかた(貸渡時は以下に設定されています)

1. 助手席後方のインバーターのスイッチをいれます。
(テレビの待機赤ランプが点灯します)
2. 黒いテレビリモコンで電源をいれ、「AV入力」にします。
3. 銀色のチューナーリモコンのスイッチをいれます。
宮城県外へ出た場合には「現在地変更」ボタンを押して、設定を現在地に合わせます。



DVDのみかた

1. 黒いテレビリモコンで「DVD」に入力を切り替えます。
2. テレビの右側面にDVD挿入口があります。DVDのタイトル面をテレビ画面側に向けて、DVDを挿入します。

※DVDを挿入するときは、他のDVDが入っていないことを確認してください。故障の原因となりますので、無理に押し込まないでください。

※内装品の使用方法説明DVDおよび映画ソフトを多数そろえておりますので、お楽しみください。

ベッド展開の仕方

以下にベッド展開の方法を紹介します。

写真ではイメージしにくいと思いますので、実際の展開時には車内の説明DVDをごらんになりながらの展開をおすすめします。

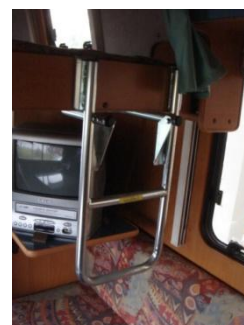
最大でバンクベッドに大人3名、フロアベッドに大人3名程度就寝可能です。



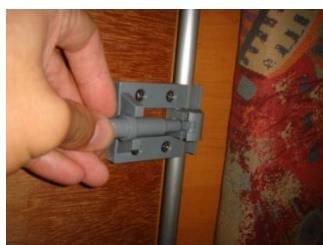
展開していない状態のダイネットです。



バンクベッドを引き出して、マットを展開します。



はしごをかけて登ります。



フックをはずしてテーブルをはずします。



背もたれをはずします。



リクライニングレバーをひいてリクライニングします。



ベンチシートの座面をずらして背もたれを隙間に埋めます。



同様に前後をフルフラットの状態にします。



フラットの状態にします。



フロアベッドの完成です！